

貸借対照表
令和 8 年 3 月 31 日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	100,390,170	112,186,287	△ 11,796,117
有形固定資産	77,487,446	83,517,362	△ 6,029,916
特定資産	21,646,573	27,104,994	△ 5,458,421
その他の固定資産	1,256,151	1,563,931	△ 307,780
流動資産	315,894,037	294,174,835	21,719,202
資産の部合計	416,284,207	406,361,122	9,923,085
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	32,939,660	41,552,221	△ 8,612,561
流動負債	91,100,427	83,311,682	7,788,745
負債の部合計	124,040,087	124,863,903	△ 823,816
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金			
第1号基本金	181,054,805	173,713,295	7,341,510
第4号基本金	9,150,000	9,150,000	0
基本金合計	190,204,805	182,863,295	7,341,510
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	102,039,315	98,633,924	3,405,391
純資産の部合計	292,244,120	281,497,219	10,746,901
負債及び純資産の部合計	416,284,207	406,361,122	9,923,085

資金収支計算書

令和 7 年 4 月 1 日 から
令和 8 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	(96,348,000)	(96,101,000)	(247,000)
手数料収入	(1,615,000)	(1,715,500)	(△ 100,500)
補助金収入	(38,803,800)	(39,091,800)	(△ 288,000)
受取利息・配当金収入	(255,000)	(562,432)	(△ 307,432)
雑収入	(3,538,000)	(3,747,521)	(△ 209,521)
前受金収入	(69,233,000)	(68,450,000)	(783,000)
その他の収入	(9,959,524)	(12,629,978)	(△ 2,670,454)
資金収入調整勘定	(△ 69,233,000)	(△ 72,146,000)	(2,913,000)
前年度繰越支払資金	293,488,210	293,488,210	
収入の部合計	444,007,534	443,640,441	367,093

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	(77,858,524)	(77,291,160)	(567,364)
教育研究経費支出	(43,619,000)	(41,182,960)	(2,436,040)
管理経費支出	(6,800,000)	(6,655,367)	(144,633)
借入金等利息支出	(280,000)	(275,220)	(4,780)
施設関係支出	(1,383,965)	(1,383,965)	(0)
設備関係支出	(2,803,405)	(2,803,405)	(0)
資産運用支出	(4,502,000)	(4,501,103)	(897)
その他の支出	(3,927,628)	(5,459,910)	(△ 1,532,282)
〔予備費〕	(0)		
	6,933,800		6,933,800
資金支出調整勘定	(△ 1,298,410)	(△ 11,032,874)	(9,734,464)
翌年度繰越支払資金	297,197,622	315,120,225	△ 17,922,603
支出の部合計	444,007,534	443,640,441	367,093

事業活動収支計算書
令和 7 年 4 月 1 日 から
令和 8 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

教育活動 収入 支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	(96,348,000)	(96,101,000)	(247,000)
		手数料	(1,615,000)	(1,715,500)	(△ 100,500)
		経常費等補助金	(38,803,800)	(39,091,800)	(△ 288,000)
		地方公共団体補助金	38,803,800	39,091,800	△ 288,000
		雑収入	(13,497,524)	(3,747,521)	(9,750,003)
		教育活動収入計	150,264,324	140,655,821	9,608,503
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	(82,360,524)	(71,832,739)	(10,527,785)
		教育研究経費	(53,837,000)	(51,400,246)	(2,436,754)
管理経費		(7,108,000)	(6,963,147)	(144,853)	
教育活動支出計		143,305,524	130,196,132	13,109,392	
教育活動収支差額		6,958,800	10,459,689	△ 3,500,889	
教育活動外 収入 支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	(255,000)	(562,432)	(△ 307,432)
		その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
		教育活動外収入計	255,000	562,432	△ 307,432
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	(280,000)	(275,220)	(4,780)
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
		教育活動外支出計	280,000	275,220	4,780
教育活動外収支差額		△ 25,000	287,212	△ 312,212	
経常収支差額		6,933,800	10,746,901	△ 3,813,101	
特別 収入 支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別収入	(0)	(0)	(0)
		特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
		特別支出計	0	0	0
特別収支差額		0	0	0	
〔予備費〕		(0)			
		6,933,800		6,933,800	
基本金組入前当年度収支差額		0	10,746,901	△ 10,746,901	
基本金組入額合計		△ 7,341,510	△ 7,341,510	0	
当年度収支差額		△ 7,341,510	3,405,391	△ 10,746,901	
前年度繰越収支差額		98,633,924	98,633,924	0	
翌年度繰越収支差額		91,292,414	102,039,315	△ 10,746,901	
(参考)					
事業活動収入計		150,519,324	141,218,253	9,301,071	
事業活動支出計		150,519,324	130,471,352	20,047,972	

財 産 目 録

令和8年3月31日

(単位：円)

科目	年度末
一資産額	
（一）基本財産	
1. 建物	72,303,851
2. 管理用機器備品	5,183,595
3. ソフトウェア	895,511
（二）運用財産	
1. 現預金	299,105,485
2. その他	38,795,765
合計	416,284,207
二負債額	
（一）固定負債	
1. 長期未払金	11,293,087
2. 退職給付引当金	21,646,573
（二）流動負債	
1. 前受金等	91,100,427
合計	124,040,087

□ 学校法人の概要

1.教育理念(教育目標)

美容は「心の化粧」(美容は人を心身ともに美しくし、美しさは人を幸せにするもの)との理念に立ち、美容の道を歩むに必要な専門的な知識と技術を身に付けた、人とのつながりを大切にする人間性豊かな人材を育成する。

2.教育方針

- (1) 美容の道を歩むに必要な専門的な知識と技術を身に付ける。
- (2) 人とのつながりを大切にする人材を育成する。
- (3) 「共有」(共に育つ、共に歩む)という姿勢を大切にして、教育に取り組む。

3. 教育活動

- (1) 1年次は美容を総合的に学び、2年次にはより専門的な学びを探究する。
- (2) 学生と協働の学びを実践する。
- (3) 学生一人ひとりに寄り添う教育を実践する。

4. 教育の特色

- (1) 美容の道を学び、美容師免許取得をめざす。
- (2) 学びの力を育む。
 - ① 多様性を認め、他と共に生きる力
 - ② さらなる高み(今日の自分を超え、明日の新たな自分)をめざす力
 - ③ 最後まで、夢を諦めない力
- (3) すべての学生一人ひとりを大切にする教育を展開する。
- (4) 美容業界とのつながりを強く、実践に力を入れた教育に取り組んでいる。

5. 教育の課題

- (1) 魅力ある授業づくり(アクティブラーニングの推進、シラバスの充実、評価アンケートのフィードバック等)に取り組む。
- (2) 特徴あるカリキュラムの検討(探究コースの充実等)を進める。
- (3) 教員環境の整備(ICT 教育の推進等)に努める。
- (4) チーム山美として、教育力の向上に努める。

6. 沿革

1954(昭和 29)年 医療法人山形厚生専門学校に美容科を設置

1957(昭和 32)年 山形県美容業環境衛生同業組合設立

1969(昭和 44)年 山形県美容業環境衛生同業組合立山形美容専修学校として許可、
岡村芳春初代理事長就任、遠山甫初代校長就任

1970(昭和 45)年 安孫子宗雄第 2 代理事長就任

1976(昭和 51)年 斎藤甚吉第 3 代理事長就任

1977(昭和 52)年 衛生高等課設置許可

1980(昭和 55)年 奥山繁雄第 2 代校長就任

1985(昭和 60)年 安孫子宗雄第 4 代理事長就任、村岡幸子第 3 代校長就任

1988(昭和 63)年 菅野寅太第 5 代理事長就任

1991(平成 3)年 伊藤六郎第 6 代理事長就任

1994(平成 6)年 齋藤隆第 7 代理事長就任

1998(平成 10)年 2 年制度の美容師養成施設として許可、校舎新築

1999(平成 11)年 専門課程設置許可専門士付与、遠山節子第 4 代校長就任

2000(平成 12)年 山形美容専門学校と校名変更

2006(平成 18)年 校舎増築

2012(平成 24)年 学校法人 薬師の杜学園山形美容専門学校として許可、
齋藤隆学校法人初代理事長就任、小山幸子第 2 代理事長就任

2015(平成 27)年 志田俊雄第 3 代理事長就任、高橋朝子第 5 代校長就任

2022(令和 4)年 高橋淑秀第 4 代理事長就任

2023(令和 5)年 阿部吉宏第 6 代校長就任

7 学生数の状況

	4/1現在	3/31現在	備考
1 学年	82名	74名	退学8名
2 学年	67名	63名	通信転入2名、退学2名
合計	149名	137名	

通信生	3/31現在
(22期)	(14名卒業)
23期	14名
24期	18名
25期	14名
合計	46名

8 役員の概要

	役 職	選出区分(寄付行為)	氏 名
1	理事長	7条2	高橋 淑秀
2	副理事長	〃	奥山 伸
3	副理事長	〃	齊藤 隆道
4	理 事	〃	桑原 通夫
5	理 事	〃	荒木 茂
6	理 事	7条1	阿部 吉宏
1	監 事		鈴木 啓司
2	監 事		志田 俊雄

9 評議員の概要

	役 職	選出区分(寄付行為)	氏 名
1	評議員	31条3	芦野 和子
2	評議員	〃	渡部 喜代春
3	評議員	〃	佐藤 光邦
4	評議員	〃	山岸 礼子
5	評議員	〃	武田 大
6	評議員	31条2	佐藤 修
7	評議員	31条1	齋藤 明子

10 職員の概要

	役職	氏名	備考
1	校 長	阿部吉宏	
2	教 頭	齋藤 明子	
3	専任教員	五十嵐静香	1年主任
4	専任教員	新田 哲也	1年1組担任
5	専任教員	船山 愛美	1年2組担任
6	専任教員	鎌田 希望	1年担当
7	専任教員	小林 さとみ	2年主任
8	専任教員	沖山 ゆき枝	2年1組担任
9	専任教員	茂木 友博	2年2組担任
10	専任教員	安達 純子	2年担当、通信主任
11	教 員	土屋 浩美	1年担当
12	教 員	三井寺 海香	2年担当
13	事 務 長	小鹿 美香子	
14	事 務 員	藤田 歩	
15	事 務 員	木村 由佳	兼務、事務主任
16	事 務 員	深瀬 直実	兼務
17	講 師	渡邊 幹子	関係法規・制度
18	講 師	荒木 茂	衛生管理
19	講 師	鈴木 青磁	衛生管理
20	講 師	鈴木 孝子	保健
21	講 師	石山 ふみ	香粧品化学
22	講 師	小野 隆弘	芸術
23	講 師	根岸 玲那	芸術
24	講 師	福田 真	芸術
25	講 師	遠藤 淳子	総合技術Ⅱ
26	講 師	齋藤 聡子	社会・福祉
27	講 師	丸山 芳浩	社会・福祉
28	講 師	相澤 孝志	社会・福祉
29	講 師	松田 治美	社会・福祉

② 事業の概要

1 教育研究を推進する。

- (1) ICT 教育(アクティブラーニング等)を進める。
- (2) よりよい授業づくり(シラバス、評価アンケートのフィードバック、外部講師の活用)
- (3) 時代が求めるカリキュラムの検討(1 年選択コース、2 年新探究の実施)
- (4) チーム山美として、教育力向上(教員の資質向上のための研修実施)につとめる。

2 学生の諸活動を支援する。

- (1) 資格取得(美容師免許、各種検定等)を支援する。
- (2) 大会参加、ヘアショー等を支援する。
- (3) 就職活動を支援(サロン説明会の実施等)する。

3 募集活動を推進する。

- (1) 入試制度の改善(自己推薦廃止、AO3 回目実施、2 次募集 1 本化)を図る。
- (2) 高校訪問 (学校案内等を直接持参)、出前授業、学校訪問、ホームページ・SNS の活用。

4 教育環境の充実に努める。

- (1) 施設・設備等の整備(1 階女子トイレ改修、実習室ボイラーの入れ替え 2025～2028 年 4 年計画)

5 その他

- (1) 2026 年度入学生より学校教育法改正に伴い、学則の変更。
- (2) 2026 年度成績評価の見直し。

6 財務の概要

1 賃金収支予算書

2 事業活動収支予算書

3 貸借対照表

監 査 報 告 書

令和 8 年 4 月 29 日

学校法人薬師の杜学園

理事会 御中

学校法人薬師の杜学園

監事

志田 俊雄

監事

鈴木 啓司

私たちは、学校法人薬師の杜学園の監事として、私立学校法第52条第1項第1号に基づいて同学園の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）における財産目録及び計算書類等（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細書、事業報告書及び附属明細書）を含め、学校法人の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、理事の業務執行は適切であり、学校法人の業務及び財産並びに理事の業務執行に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上